

令和7年度（寒川高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（高い倫理観の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）	公務内外において教育公務員としての自覚と高い倫理観を持ち、県民からの信頼を損なわない。	・不祥事防止啓発資料を活用し、法令遵守等の意識を喚起するとともに、教育公務員としての倫理意識を高めた。 ・公務外非行の事例を挙げ、他人事ではなく自分事としてとらえることにより、非行防止に努めた。 ・「神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針」を年度当初の校長面談で職員一人ひとりに確認することにより、周知、徹底に努めた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	人権意識を高めるとともに、パワハラ、セクハラ、マタハラをはじめとする職場内でのハラスメントを防止することにより人間関係の悪化を未然に防止する。	・職員が一人で悩み抱え込むことがないよう、相互に気遣いのできる職場環境づくりを全職員が心がけた。 ・管理職による個別面談を実施し、ハラスメントや不祥事を未然に防ぐことができた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒と物理的・心理的距離をとり、わいせつ・セクハラ行為を行わない。	・電子メールやSNS、LINEなどを利用した生徒との連絡は絶対に行わないよう、不祥事防止研修等で周知、徹底できた。 ・わいせつ・セクハラ行為の防止のため相互に注意しあえる関係の構築を図った。 ・教職員全員に向けて不祥事防止研修を実施し、わいせつ・セクハラ行為を防止できた。
体罰、不適切な指導の防止	高い人権意識をもって、部活動や教科指導等での体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	・部活動では、体罰によらない指導に努め、教職員の相互チェック体制を整えた。 ・不祥事防止啓発資料を活用し、不適切な指導を防止できた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理、進路関係書類の作成および送付にかかわる不祥事を絶対に起こさない。	・マニュアルに基づいた行動の徹底を図るとともに、情報共有や相互チェック体制を構築したが、思い込みで作業を行った結果、願書受付時にミスが起こってしまった。 ・調査書や提出資料等の点検を複数名で行うとともに、管理職による点検を徹底した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流失及び携帯電話、電子メール、SNSの不適切使用を未然に防止する。	・個人情報の持ち出しや登録について、届け出の徹底を図った。 ・教務手帳など重要個人情報については鍵付きロッカーでの保管を徹底し、適切に管理した。 ・不祥事防止職員啓発点検資料を活用し、電子データの個人情報の取扱いや、電子メールの適切な利用について周知できた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、交通事故を未然に防止する。	・私生活においても、公務員としての自覚を持った行動を促した。 ・朝の打合せや不祥事防止研修において、飲酒運転の根絶、法令遵守を周知し、不祥事ゼロを達成できた。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務執行体制を確保し、共有と協力を進め、事故を未然に防止する。	・業務上必要な情報共有を行い、お互いに漏れやミスがないか点検できる体制づくりに努めた。 ・緊急時や繁忙期に、グループや教科の枠を超えて協力できる体制を今後も継続して整えていく。

財務事務等の適正執行	適切で公正な予算編成と執行に努める。	・「私費会計事務処理の手引き」に基づいた会計処理に努めた。 ・半期ごとに私費会計簿の定期点検を実施し、適切な会計処理に努めた。 ・購入物品の現物確認を徹底し、不正な購入がないことを確認した。 ・物品管理者を中心に備品の現物照合を行った。
保護者への適正対応	保護者との連携を深め、トラブルを未然に防止する。	・保護者等との連絡を密にして、生徒が抱える問題や課題を共有しながら、早期対応、早期解決に努めた。
職員の不祥事防止の意識の醸成	「神奈川県教育委員会令和7年度不祥事防止取組方針」に基づき、不祥事防止に関する意識の醸成を図り、不祥事ゼロを目指す。	・業務の遂行に当たって、職員への声掛けや年度当初の校長面談等で、不祥事防止に関する知識と意識の向上を図った。 ・初任者や臨時的任用職員を対象にわいせつ事案の根絶に向けた不祥事防止研修を実施した。 ・不祥事防止職員啓発・点検資料を活用しながら全教職員を対象とした不祥事防止研修を定期的に行った。

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

今年度は、職員間の同僚性を向上させ、情報共有を行いながら不祥事ゼロに向けて取り組んだ。不祥事防止研修に加え、朝の打合せやTeamsを活用しながら、繰り返し注意喚起をして不祥事ゼロを図ってきた。生徒に対する指導では、丁寧に生徒の話を聞き関係性を構築することにより、体罰と不適切な指導ゼロを目指した。

しかし、過密な日程での入学者選抜において、マニュアルに基づいた業務の遂行をお願いしていたが、思い込みで作業を行った結果、願書受領に関するミスが起きてしまった。日程や業務ごとに、手順を事前確認することで、マニュアルと思い込みの差を無くしていきたい。

同僚性が高い職員集団であり、風通しの良い職場であるが、馴れ合わずに教職員としての崇高な使命を背負っていることを自覚するよう促していきたい。令和8年度も職員の入れ替わりが多い職場ではあるが、引き続き、不注意による些細なミスも未然防止できる職場風土となるよう働きかけるとともに、個人情報等管理・情報セキュリティ対策も継続して取り組んでいきたい。また、引き続き業務計画に基づいた執行状況の見える化等に取り組む。